

「ぼうさい探検隊」体験と講演

○日 時：2016年3月12日（土）13：30～17：20

○会 場：佛教大学紫野キャンパス1号館

○対 象：小学生、小学校関係者（教諭、保護者等）、大学生等

○参加者数：70名

○主 催 等：主催 日本損害保険協会・京都府・佛教大学、協力 京都市北消防団第9分団

○開催趣旨：「京都学生 FAST」※の大学生に「ぼうさい探検隊」の体験を通じて子どもたちのリーダー役を体験してもらうこと、また、京都地方で発生している災害時（京都府で記録的な豪雨となった2014年8月の豪雨や2013年の台風18号）における消防団や自主防災組織の活動を学んでもらうことにより、次世代の防災リーダーとしての意識高揚を図る。

＜京都学生 FAST とは＞

京都府では、サークル活動を通して若者に防災活動についての意識向上を図り、将来の消防団入団に繋げることを目的に、府内大学が立ち上げる「大学生消防防災サークル」の活動支援を平成26年度から開始。各大学単位で構成された大学生の消防防災サークルについて、府全体でネットワークを構築し、「京都学生 FAST（Fire and Safety Team）」の呼称のもと、府のコーディネートや市町村消防機関との協働・サポートにより、消防防災活動を行っている。

2015年度
地域防災力向上
取り組み
in
京都

演習

ぼうさい探検隊

○概要：

1. オリエンテーション
2. 地図を持ってまちなかウォッチング
3. 会場に戻り、気づいた施設や標識などを付箋に記入、地図づくり

4. 発表（各チームから）

5. 京都市北消防団第9分団から講話（豪雨時の地区の様子と今後の備え）

6. まとめ・講評

7. 感想（全員から）



講演

地域防災力 強化講演

○講師：室崎 益輝氏（神戸大学名誉教授・兵庫県立大学防災教育センター長）

○概要：前半を小学生向けに、後半を大学生向けに分け、講演。

・小学生向けメインテーマ「危険を知り、正しく恐れて、正しく備える」

- ①今後30年が自然災害の多発する時期に当たること
- ②地震発生のメカニズムや豪雨災害
- ③災害には人災と天災があること（身近な交通事故などの死者数とを比較）
- ④それぞれの災害について、意外な原因で多数の死者が出ていること

などについて解説がされた。

また、「ぼうさい探検隊」の意義と登下校時など日ごろから「もしもの時を考える」ことの重要性を説いた。

・大学生向けメインテーマ「大規模災害と地域防災力」

- ①地球温暖化やウィルスなど災害が多様化・激甚化する現状
- ②地域社会の脆弱化（少子高齢化、一人暮らしの増加、大学生などの若手



ぼうさい探検隊（たんけんたい） まちあるき

- ・身のまわりの危険を、みんなで一緒に、発見する
- (1) まちのなかを歩いて調べる
- (2) まちのひとにたずねて調べる
- 過去の災害 防災の取り組み
- (3) 高さや長さなどをはかってみて調べる



が時間的にも経済的にもひっ迫、自治会の加入率の低下、税収減による行政職員の減員等）

③対策として、若い力を防災に向けていく仕組み作りと、若い人たちが増える社会作りの必要性

などについて解説がされた。

また、災害に強い地域社会やコミュニティを作ること、そのためには消防署員や消防団員のみならず、専門性を持った市民等も含むさまざまな人たちが、防災について力を合わせていくようなネットワークを作ることの必要性について解説がされた。